

## 視察園概要

1

視察場所：登米市南方町後屋敷待井11

TEL：0220-58-4205

会社名：(有)板倉農産

代表取締役：阿部 善文  
社員：本人、妻、息子夫婦、両親



### 1. 経営内容

#### ・稲作を中心とした有機物循環農法

##### 【経営理念】

- ①「土を耕し心を耕す」の経営理念に基づき、お客様との信頼を第一に。
- ②農業の実際をありのままに伝える事を使命に、消費者との相互理解を図る。

##### 【経営の特徴】

- ①低農薬、有機米の生産による消費者との直接販売（受注生産販売）。
- ②グループで作業受託を実施。新聞チラシなどで広報、個別受託。
- ③無農薬無化学肥料だけではない有機米生産への取り組み。  
～米ぬか除草、アイガモ除草等。（全ては、物質循環の一部）
- ④消費者のニーズの把握のため、月1回米の宅配時に産地情報紙発行。  
年1回地元と呼んでの農業体験、交流会を実施。
- ⑤「自然との共生」をテーマにした自社ブランド米「はつかり米」の販売。

#### ・農業インターンシップ研修生の受入

年7～8人。研修内容：農作物（水稻、野菜）の栽培管理  
平飼い養鶏に関する作業全般

※JAS有機生産行程管理者の研修実施。

#### ・経営規模

土地面積：自作地 7.53ha 借地 1.38ha 計 8.91ha  
作業受託：耕起・代掻き 1.2ha 育苗・田植え 1.2ha  
収穫・乾燥 6.5ha のべ面積 8.9ha  
年商：6千万円。

### 2. 就農・法人化するまでの経過

専業農家の長男として生まれるも、両親には就農を反対される。

大学受験から一転、宮城県農業大学校へ進学。卒業後、古川農業試験場に2年努め、就農。平成元年に、父とは別に地域の後継者と作業受託組を結成。平成5年には、借地3haで有機栽培による直接販売に取り組む。

平成6年には、800件の顧客を確保し、精米プラントを導入。

翌年は1300件に増加し、平成8年2月29日に、会社を設立した。

### 3. 出荷販売先

#### ・全量消費者への直接販売。

米は、9割宅配、1割は、米屋・飲食店。野菜は、9割売り場。

### 4. 今後の経営目標（将来の展望）

- ・インターンシップ受入研修生などと一緒に販売を展開してみたい。
- ・我が家の米を食べた東京オリンピック代表選手が育ってほしい。

### 5. 新規参入者希望者へ一言

就農にあたっては、まず種子をまくこと。

あれこれ考える前に行動を！反省と検討の繰り返しである。

